

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Study * Cafe千種			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 19日 ~ 2025年 2月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 41人	(回答者数) 21人		
○従業者評価実施期間	2025年 1月 16日 ~ 2025年 1月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6人	(回答者数) 6人		
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月9日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	異年齢の利用者と関わることができる。□ ※より強化・充実を図ることが期待されること	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の利用者でも楽しめるプログラム（集団活動）を毎日実施している。 (例：食育（簡単な調理）プログラム、ゲーム療育など) ・指導員の得意分野を活かしたプログラム内容で行っている。 ・休憩中は、ボードゲームなどを活用しながら、異年齢の利用者さんと関わる空間を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンネリ化にならないために、利用者からあがったプログラム（集団活動）案で実現できるものを取り入れる。 (謎解きゲーム、大富豪大会、絵しりとりなど利用者が主になって考えた案を2025年の夏から試験的に行う予定)
2	保護者との密な連携ができる。□ ※より強化・充実を図ることが期待されること	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回（場合によって数回）希望者で面談を行っている。 ・家庭の都合上面談が厳しいご家庭は、LINEやHUGで情報共有を行っている。 □ 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き面談の声かけをしていく。 ・面談が厳しいご家庭も引き続き連絡ツール（電話に加え、LINEやHUG等を活用）で情報共有を行っていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関との連携が少ない。□ ※より強化・充実を図ることが期待されること	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所との関りが少ない。 ・セルフプランでの利用する利用者が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業所を訪問し、弊所を知つてもらうきっかけを作る。 ・部会に積極的に参加する。 ・セルフプランの利用者さんには、こちらが主となって他の事業所と連携を積極的に行っていく。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	Study * Cafe千種		公表日 2025年4月9日					
						利用児童数 41人	回収数 21人	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 19	どちらともいえない 2	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	4			・利用中の様子を見た事がないため、なんとも言えません。	・ご意見ありがとうございます。指導員の配置数に関しては、国が定めている基準を満たしております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1				
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	2				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1				
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	3				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	9	6			
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	7	2			
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	10	7			
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2				

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	3				
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21					
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	5				
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	5				
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われているだと思いますか。	19	1	1			
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	5	1			
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	21					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	4				
	29 事業所の支援に満足していますか。	20	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Study * Cafe千種				公表日 2025年4月9日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・指導員の数は満たしている。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・個別ブースを設置。児童・生徒の状況に対応して個別対応が必要な時など変えている。 ・ホワイトボードにスケジュールを掲示している。 ・エレベーターを備えている。	・現在の建物の現状として適切な配慮が難しい部分があると思う。 ・エレベーターに乗るためにには、1回に続く階段をのぼるか、地下1階の重たい扉を開く必要がある。地下1階には少し段差がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・アフターコロナである今でもアルコール消毒をし、空気の入れ替えを定期的に実施している。 ・冬期には加湿もしている。	・現在の建物の現状として適切な配慮が難しい部分があると思う ・もっと掃除をしたいなと思うときがある。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・月に1度定例MTGを開催して、業務の進捗確認や情報共有を行っている。 ・日々の事前事後のMTGなど話し合い・共有の機会は多い方だと思う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・定期的に面談をしており、面談などであげられたことに対しての対応が早い。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・月1度の定例MTGなどで、情報を共有している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		・監査についてはわからない ・第三者からの評価の機会を中々設けることができないため、社内での内部監査を行う予定をしている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・市の研修に自発的に参加、心理士として、勉強会、講座に参加している。 ・事業所内研修を行っている。	
適切 な 支 援 の 提 案	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・児童・生徒に必要な情報を開示している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・作成された意図を考えて、計画に沿って支援・指導している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・難しいケースの場合、他の機関のアドバイスを守秘義務を守ったうえで受けしており、その後社内での共有を行い、支援の見立てを立てている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	・事業所を卒業する予定の生徒には、その後活用できるサービスに関する情報の提供やアドバイスの実施をしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・話し合いやすい開けた関係が構築されている。 ・プログラムは個々で行うことが多い	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			

供	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・参加者に合わせてプログラムを考えている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		・打合せは行うが報連相がうまくできていないことがあるため、日ごろから気づいたら伝えるということを大切にしていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・日々の遊びでも選択肢を提示するようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	1	3	・現在対象の利用者がいないため、実施していないが、過去には不登校支援の一環として、中学校と連携をしていたことがある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	・過去のことを聞くことは少ない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	・子ども部会への参加を行っている。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		
～	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・個支計面談に加え、希望者に対して月に1回面談を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		5		・HUGやLINEを活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		4	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		5		・研修に参加している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		4	1	・プログラムとして避難訓練を実施しており、実際に避難場所への避難などを実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		4	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		4			